

東京ガス株式会社 2006年度中間決算説明会

2006年10月30日

＜見通しに関する注意事項＞

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた東京ガスの経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、日本経済の動向、原油価格の動向、気温の変動、円ドルの為替相場、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への東京ガスの対応等があります。

2006年度中間決算の概要

中間決算総括(対見通し)

■ 対第1四半期発表時見通し比 増収増益

<プラス要因>

- ・ 低気温の影響による家庭用ガス販売量の増
- ・ 円高による原材料費の減
- ・ コスト削減努力と予算執行の遅れによる固定費の減

<マイナス要因>

- ・ 低気温による商業用ガス販売量の減少

(億円未満切捨て)

	当初見通し (4/27時点)	第1Q時見通 (7/28時点)	FY06 中間実績	対当初	対7/28
売上高	5,890	6,020	6,035	+145(+2.4%)	+15(+0.3%)
営業利益	390	490	627	+237(+60.7%)	+137(+28.1%)
経常利益	350	430	555	+205(+58.5%)	+125(+29.3%)
中間純利益	210	260	360	+150(+71.4%)	+100(+38.7%)
為替(円/\$)	120.00	117.25	115.38	-4.62	-1.87
原油(\$/bbl)	60.00	67.58	67.81	+7.81	+0.23

中間決算総括(対前期実績)

■ 対前中間期比 増収増益

<プラス要因>

- ・ 原料費調整制度による単価増
- ・ 工業用を中心としたガス販売量の増

<マイナス要因>

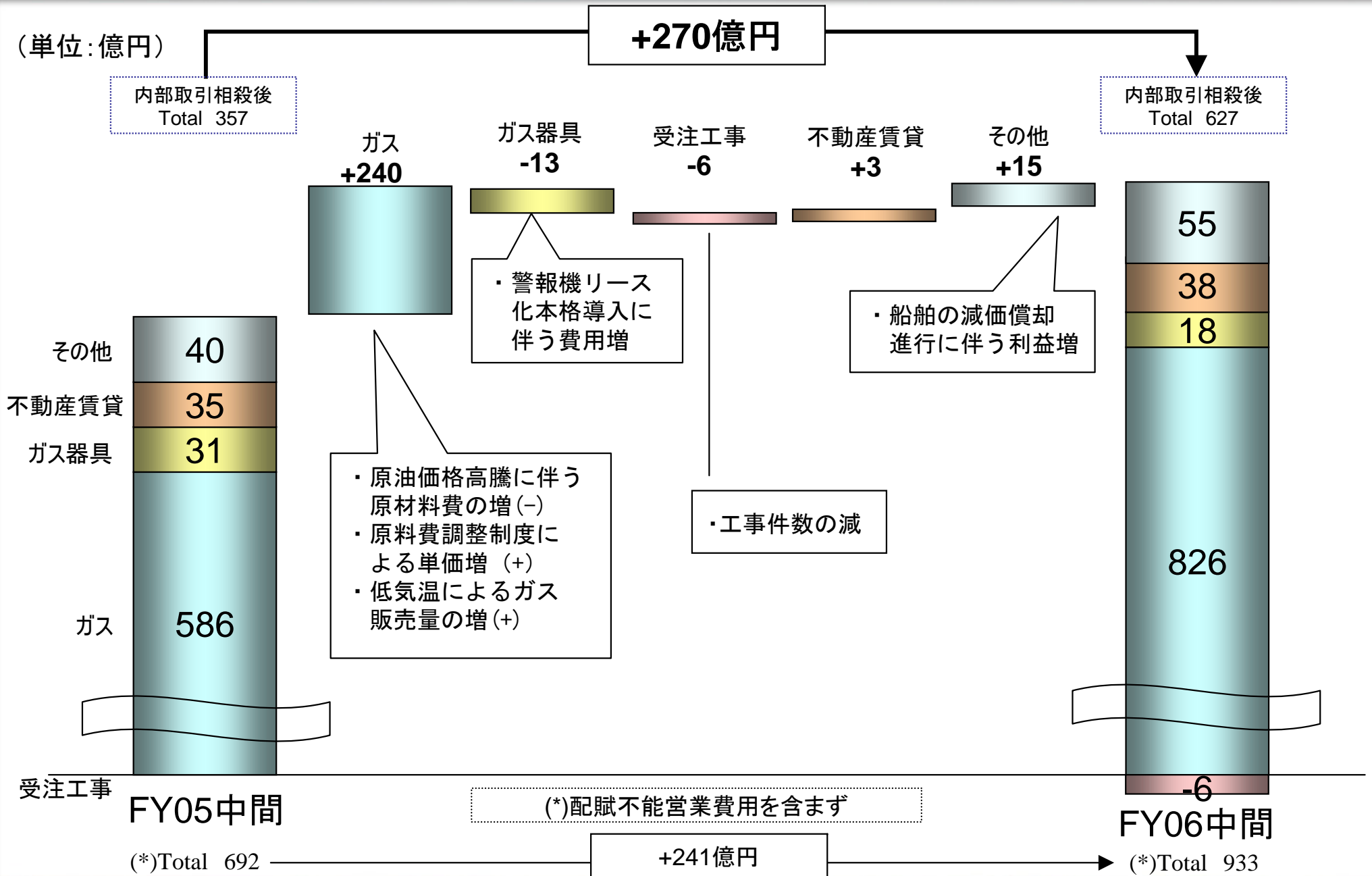
- ・ 原油価格高騰に伴う原材料費の増

(億円未満切捨て)

	FY05 中間実績	FY06 中間実績	増減
売上高	5,344	6,035	+691(+12.9%)
営業利益	357	627	+270(+75.6%)
経常利益	324	555	+231(+71.1%)
中間純利益	221	360	+139(+62.8%)
為替(円/\$)	109.52	115.38	+5.86
原油(\$/bbl)	53.09	67.81	+14.72

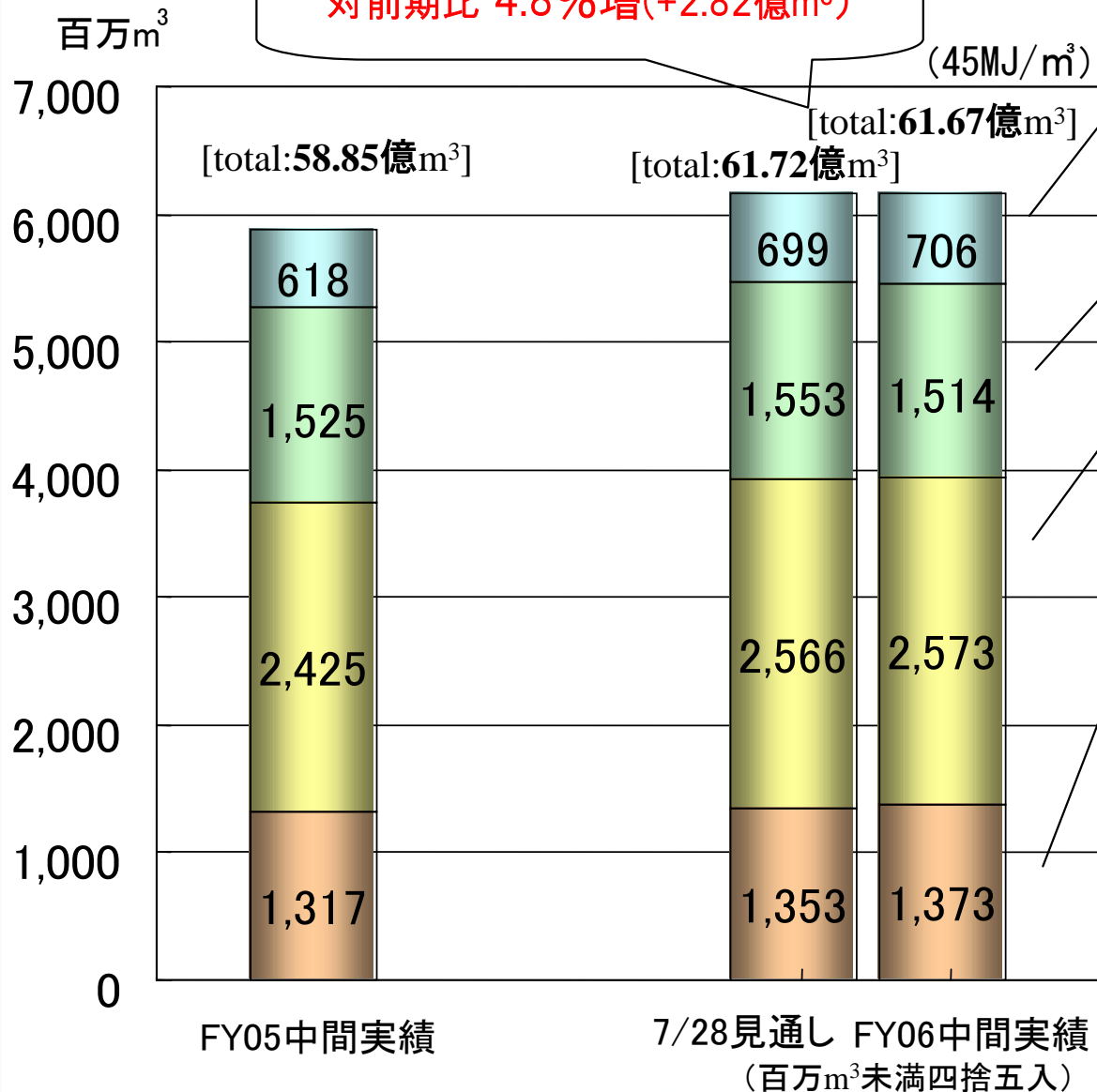
営業利益増減要因

(単位:億円)



ガス販売量実績(連結・対見通し)

対前期比 4.8%増(+2.82億m³)



<FY05中間実績→FY06中間実績 増減要因>

卸供給 +14.3% (+88百万m³)

- 卸先需要家の新規稼動・稼動増による引き取り量増

商業用その他 -0.7% (-11百万m³)

- 低気温の影響による空調需要の減

工業用 +6.1% (+148百万m³)

- 発電専用向け需要の新規稼動増
- 既存物件の生産増による稼動増

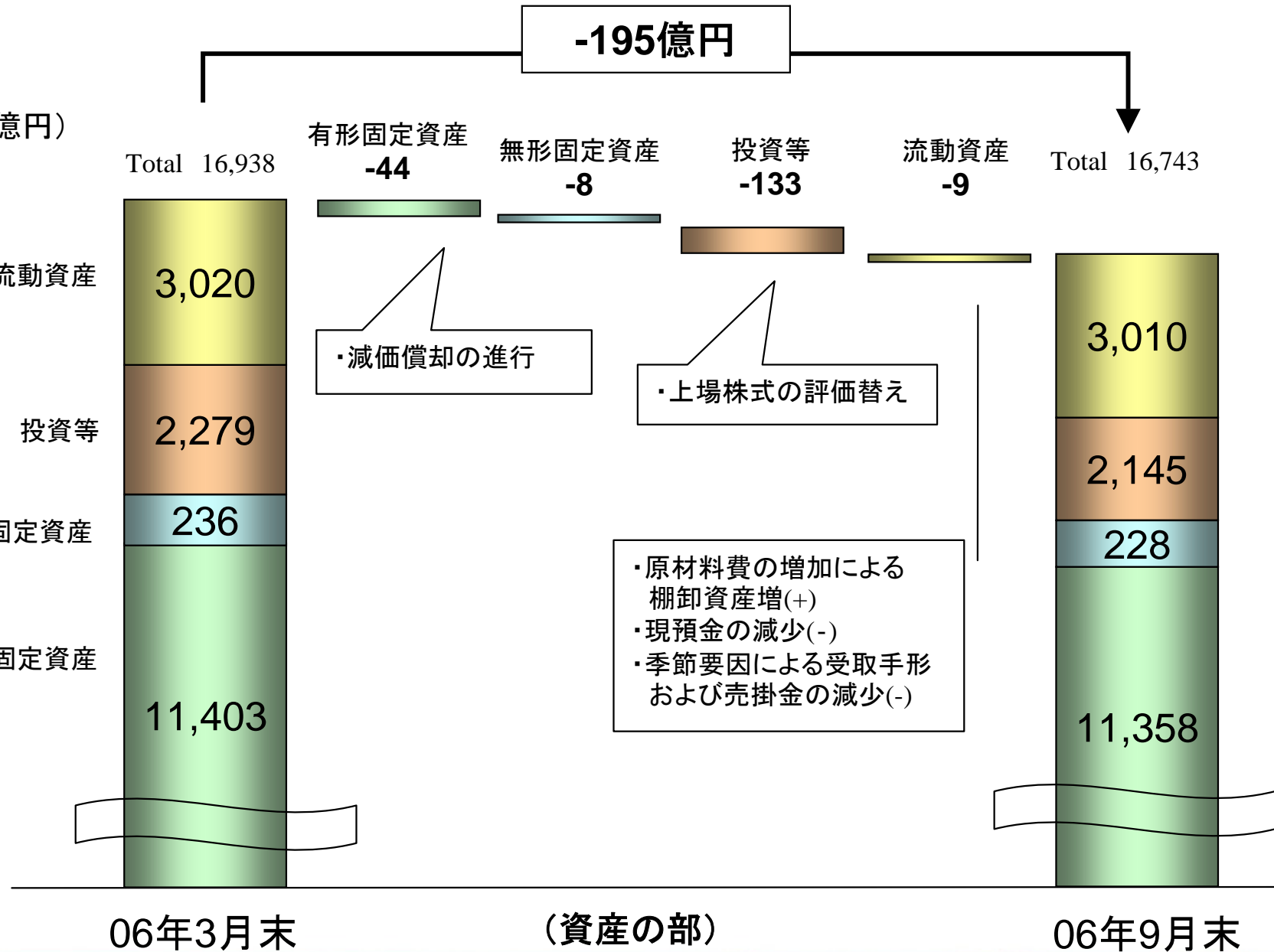
家庭用 +4.3% (+56百万m³)

- 低気温の影響による給湯需要の増加
- お客さま件数の増

(参考)	7/28 見通し	FY06 中間実績	対7/28増減	
家庭用	1,353	1,373	+21	+1.5%
工業用	2,566	2,573	+7	+0.3%
商業用その他	1,553	1,514	-39	-2.5%
卸供給	699	706	+7	+1.0%
合計	6,172	6,167	-5	-0.1%

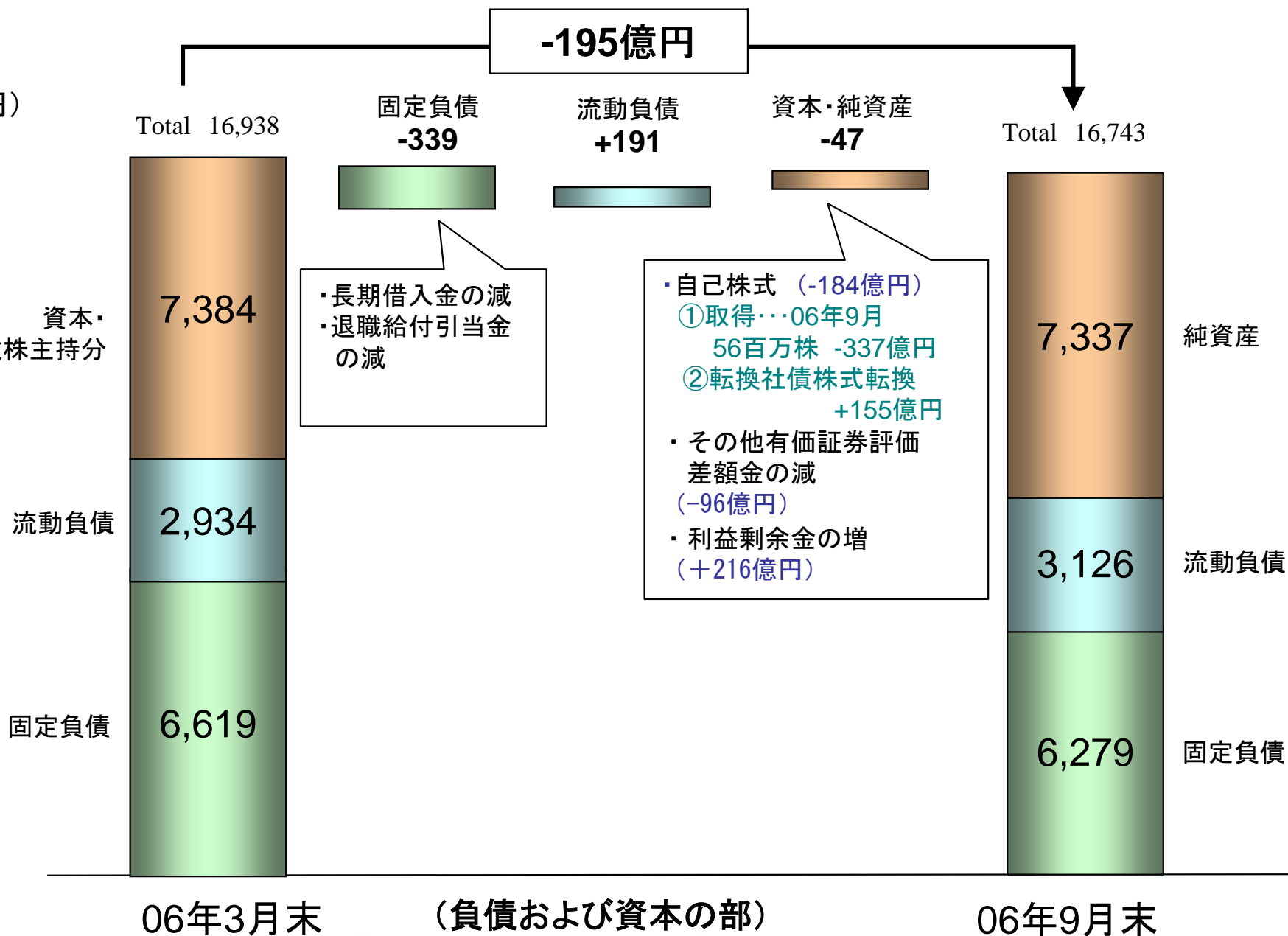
BS増減要因(資産の部)

(単位:億円)



BS増減要因(負債および資本の部/純資産の部)

(単位:億円)



2006年度通期収支の見通し

通期見通し(対見通し)

■ 対第1四半期発表時見通し比 減収増益

<プラス要因>

- ・ 原材料費の減
- ・ 連結子会社による利益増

<マイナス要因>

- ・ 円高影響による単価減
- ・ 政策経費の投入（安全対策促進等）

■ 単体経常利益 対第1Q見通し比 要因分析	
販売量増によるガス粗利の増	+16億円
スライドタイムラグによる収支改善等	+36億円
政策費投入による諸経費増	▲20億円
ガス器具販売費用増	▲13億円
営業外収支悪化	▲20億円

単体経常利益 1,170億円→1,170億円 0億円

(億円未満切捨て)

	FY06計画 (4/27時点)	FY06見通し (7/28時点)	FY06 今回見通し	対当初	対7/28
売上高	13,700	13,940	13,920	+220(+1.6%)	-20(-0.1%)
営業利益	1,340	1,350	1,410	+70(+5.2%)	+60(+4.4%)
経常利益	1,260	1,260	1,310	+50(+4.0%)	+50(+4.0%)
当期純利益	820	820	860	+40(+4.9%)	+40(+4.9%)
原油(\$/bbl)	62.50	68.79	68.95	+6.45	+0.16
為替(円/\$)	120.00	118.62	117.69	-2.31	-0.93

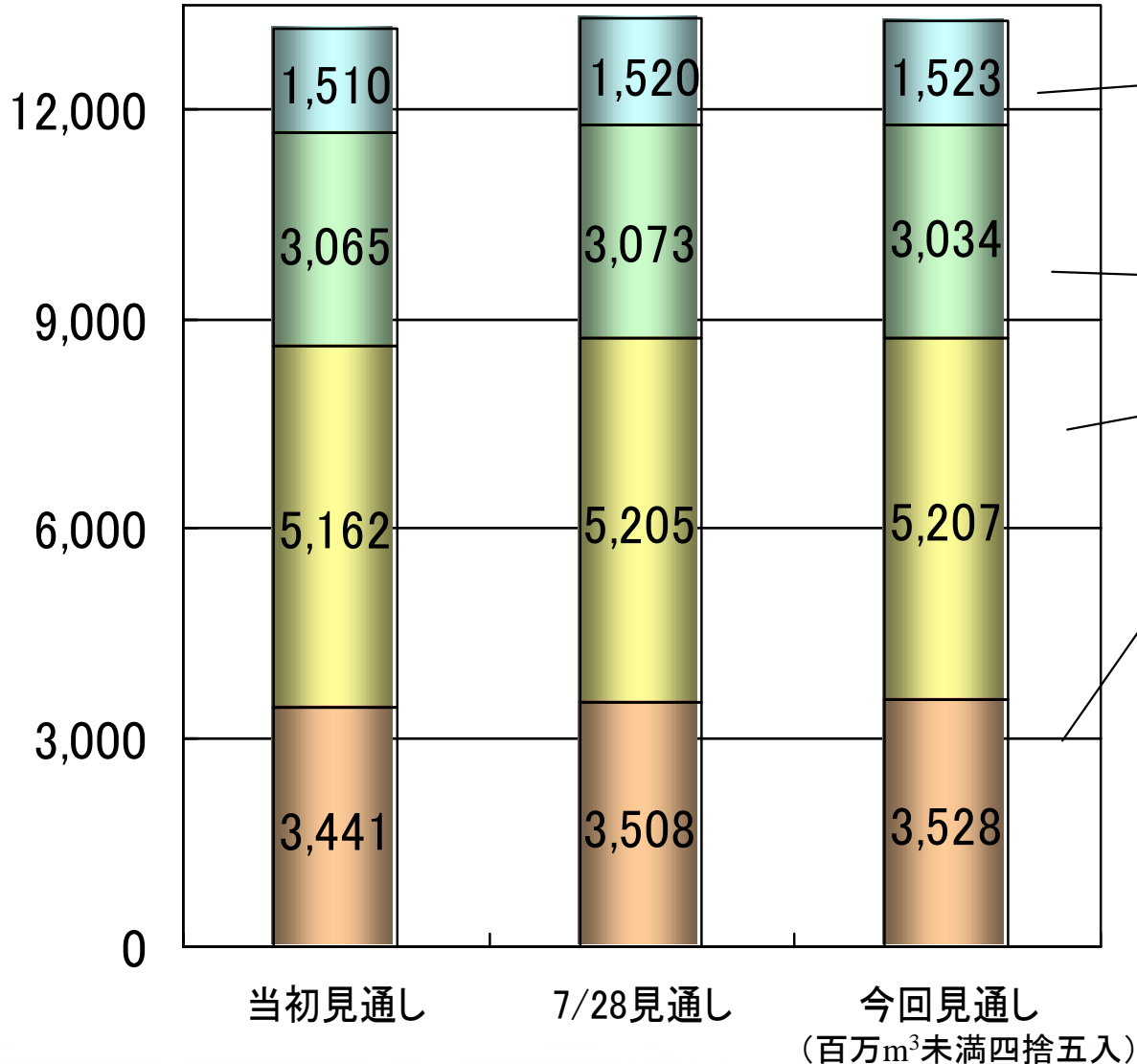
ガス販売量見通し(連結・対見通し)

7/28見通し比 0.1%減(-14百万m³)

(45MJ/m³)

百万m³

[total: 131.77億m³] [total: 133.05億m³] [total: 132.91億m³]



<7/28見通し→今回見通し 増減要因>

卸供給 +0.2% (+4百万m³)

・上期低気温影響による供給先事業者の
引取量増

商業用その他 -1.3% (-39百万m³)

・低気温による空調需要の減

工業用 +0.0% (+2百万m³)

・発電専用物件の定期修理による稼動減
・既存物件の生産増による稼動増

家庭用 +0.6% (+20百万m³)

・上期低気温による給湯需要の増

(参考)	当初見通し	今回見通し	対当初	
家庭用	3,441	3,528	+87	+2.5%
工業用	5,162	5,207	+45	+0.9%
商業用その他	3,065	3,034	-31	-0.1%
卸供給	1,510	1,523	+14	+0.9%
合計	13,177	13,291	+114	+0.9%

通期見通し(対前期実績)

■対前期比 增收増益

<プラス要因>

- ・ ガス販売量の増加
- ・ 原料費調整制度による単価増
- ・ 数理計算上の差異費用処理の減少による諸給与減

<マイナス要因>

- ・ 原油価格高騰に伴う原材料費増
- ・ 政策経費の投入（安全対策促進関連費用・電化対策費用）

(億円未満切捨て)

	FY05実績	FY06今回見通し	増減
売上高	12,665	13,920	+1,255(+9.9%)
営業利益	1,123	1,410	+287(+25.5%)
経常利益	986	1,310	+324(+32.7%)
当期純利益	621	860	+239(+38.5%)
為替(円/\$)	113.32	117.69	+4.37
原油(\$/bbl)	55.81	68.95	+13.14

営業利益増減要因

(単位:億円)

+287億円

内部取引相殺後
Total 1,410

内部取引相殺後
Total 1,123

ガス
+280

ガス器具
-27

受注工事
-2

不動産賃貸
+3

その他
-19

その他

96

不動産賃貸

54

受注工事

29

ガス器具

46

ガス

1,600

- ・ガス販売量の増加(+)
- ・原料費調整制度による単価増(+)
- ・原油価格高騰に伴う原材料費の増(-)

- ・納入価の上昇
- ・リベートの増

- ・エネルギーサービス事業における初期投資償却負担の増

77

57

27

19

1,880

FY05実績

(*)営業利益には配賦不能営業費用を含まず

FY06 見通し

(*)Total 1,827

+233億円

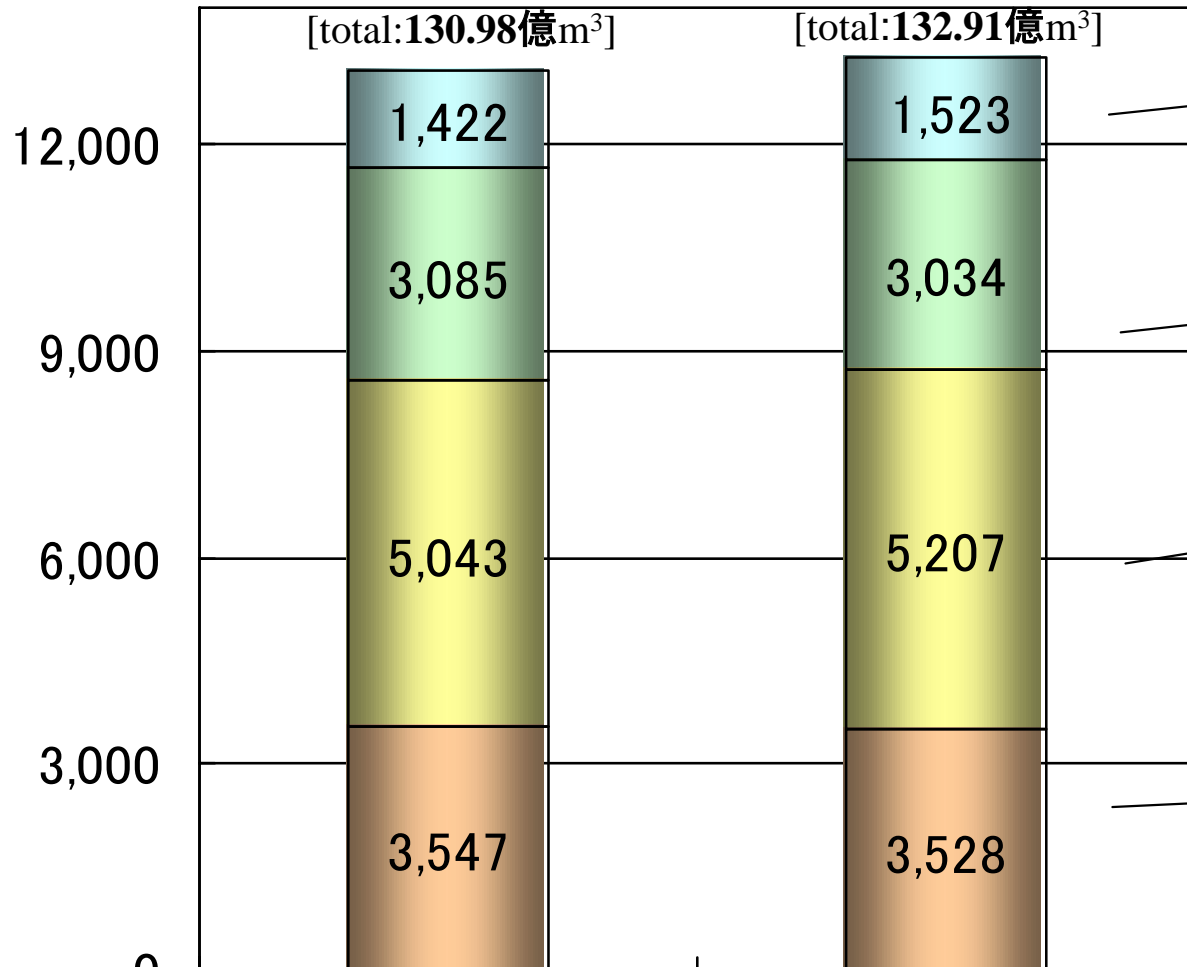
(*)Total 2,060

ガス販売量見通し(連結・対前期実績)

前期比1.5%増 (+1億93百万m³)

百万m³

(45MJ/m³)



<FY05実績 →FY06見通し 増減要因>

卸供給 +7.1% (+101百万m³)

・卸先需要家の新規稼動・稼動増

商業用その他 -1.7% (-52百万m³)

・上期低気温による空調需要の減

工業用 +3.2% (+163百万m³)

・発電専用向け新規稼動増
・既存物件の生産増による稼動増

家庭用 -0.5% (-19百万m³)

・冬場の低気温影響の平準化

FY05実績

FY06見通し

(百万m³未満四捨五入)

参考資料

主要計数表(中間期-①)

(億円)

	FY05 中間実績	当初 見通し	7/28 見通し	FY06 中間実績	対前期	対当初	対7/28
売上高	5,344	5,890	6,020	6,035	+12.9%	+2.4%	-0.2%
営業利益	357	390	490	627	+75.6%	+60.7%	+27.9%
経常利益	324	350	430	555	+71.1%	+58.5%	+29.0%
中間純利益	221	210	260	360	+62.8%	+71.4%	+38.4%
EPS(円)	8.39	-	-	13.41	+5.02	-	-
TEP	5	-	-	127	+122	-	-
ガス販売量(百万m ³)	5,885	6,044	6,172	6,167	+4.8%	+2.0%	-0.1%
為替(円/US\$)	109.52	120.00	117.25	115.38	+5.86	-4.62	-1.87
原油(\$/bbl)	53.09	60.00	67.58	67.81	+14.72	+7.81	+0.23

(注) EPSの分母は期中平均株数

主要計数表(中間期-②)

(億円)

	FY05 中間実績	当初 見通し	7/28 見通し	FY06 中間実績	対前期	対当初	対7/28
総資産(a)	16,454	-	-	16,743	+1.7%	-	-
自己資本(b)	6,661	-	-	7,231	+8.6%	-	-
自己資本比率 (b)/(a)	40.5%	-	-	43.2%	+2.7%	-	-
有利子負債残高	6,376	-	-	6,121	-4.0%	-	-
営業キャッシュフロー (c)+(d)	873	860	910	1,012	+15.9%	+17.6%	+11.2%
中間純利益(c)	221	210	260	360	+62.8%	+71.4%	+38.5%
減価償却(d)	651	650	650	652	+0.1%	+0.3%	+0.3%
設備投資	542	710	710	586	+8.1%	-17.4%	-17.4%
ROA : (c) / (a)	1.3%	-	-	2.1%	+0.8%	-	-
ROE: (c) / (b)	3.4%	-	-	5.0%	+1.6%	-	-

(注) 前期実績数値はBS系の項目は前期末数値を表示

ROA=当期純利益／総資産(期首・期末平均), ROE=当期純利益／自己資本(期首・期末平均)

営業キャッシュフロー=中間純利益+減価償却費

主要計数表(通期-①)

(億円)

	FY05 実績	当初 見通し	7/28 見通し	FY06 見通し	対前期	対当初	対7/28
売上高	12,665	13,700	13,940	13,920	+9.9%	+1.6%	-0.1%
営業利益	1,123	1,340	1,350	1,410	+25.5%	+5.2%	+4.4%
経常利益	986	1,260	1,260	1,310	+32.9%	+4.0%	+4.0%
純利益	621	820	820	860	+38.5%	+4.9%	+4.9%
EPS(円)	23.48	30.46	30.37	32.19	+8.71	+1.73	+1.82
TEP	229	378	379	409	+180	+31	+30
ガス販売量 (百万m ³)	13,098	13,177	13,305	13,291	+1.5%	+0.9%	-0.1%
為替(円/US\$)	113.32	120.00	118.62	117.69	+4.37	-2.31	-0.93
原油(\$/bbl)	55.79	62.50	68.79	68.95	+13.16	+6.45	+0.16

(注)EPSの分母は中間期末株数

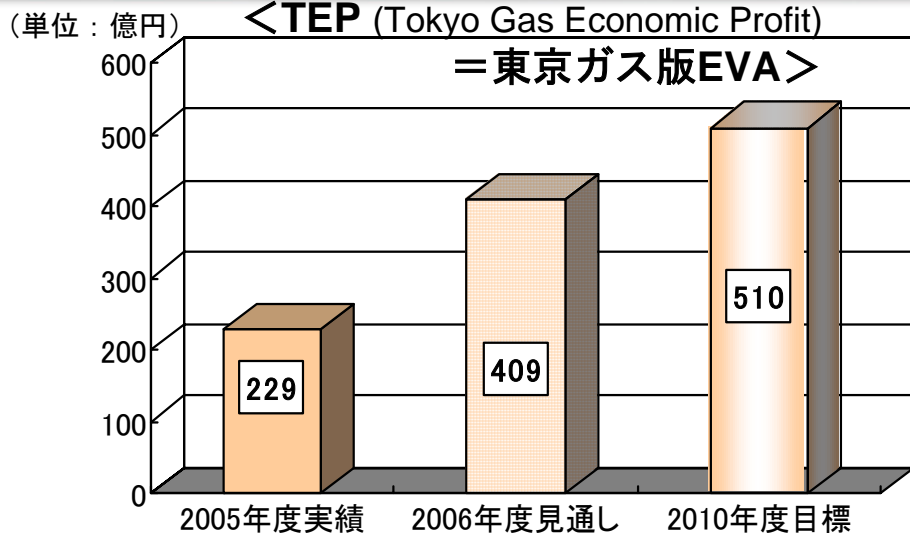
主要計数表(通期-②)

(億円)

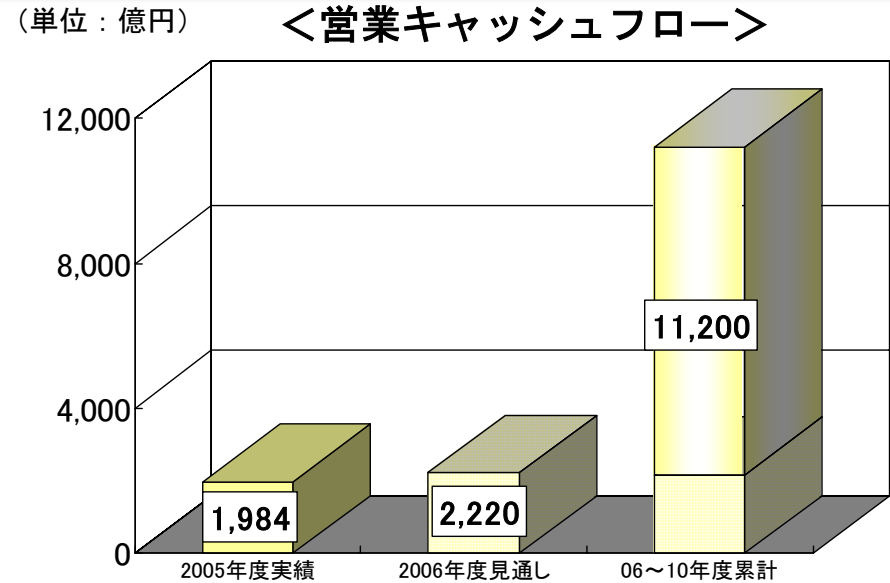
	FY05 実績	FY06 見通し	7/28 見通し	FY06 見通し	対前期	対当初	対7/28
総資産(a)	16,938	16,970	16,970	16,840	-0.6%	-0.8%	-0.8%
株主資本(b)	7,282	7,660	7,660	7,710	+5.9%	+0.7%	+0.7%
株主資本比率 (b)/(a)	43.0%	45.1%	45.1%	45.8%	+2.8%	+0.7%	+0.7%
有利子負債残高	5,599	5,700	5,700	5,290	-5.5%	-7.2%	-7.2%
営業キャッシュ フロー(c)+(d)	1,984	2,180	2,180	2,220	+11.9%	+1.8%	+1.8%
当期純利益(c)	621	820	820	860	+38.5%	+4.9%	+4.9%
減価償却費(d)	1,363	1,360	1,360	1,360	-0.2%	±0%	±0%
設備投資	1,194	1,430	1,430	1,400	17.3%	-2.1%	-2.1%
ROA : (c) / (a)	3.7%	4.8%	4.8%	5.1%	+1.4%	+0.3%	+0.3%
ROE: (c) / (b)	9.0%	11.0%	11.0%	11.5%	+2.5%	+0.5%	+0.5%

(注) ROA=当期純利益／総資産(期首・期末平均), ROE=当期純利益／自己資本(期首・期末平均)
営業キャッシュフロー=中間純利益+減価償却費

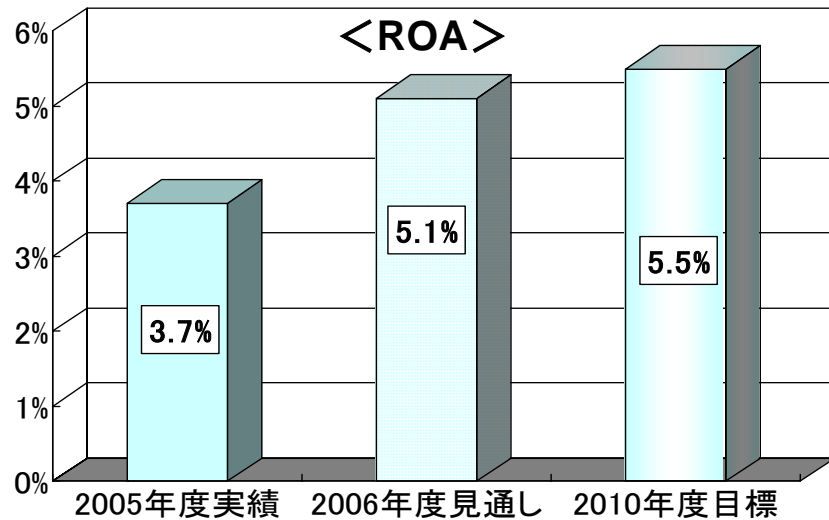
主要経営目標



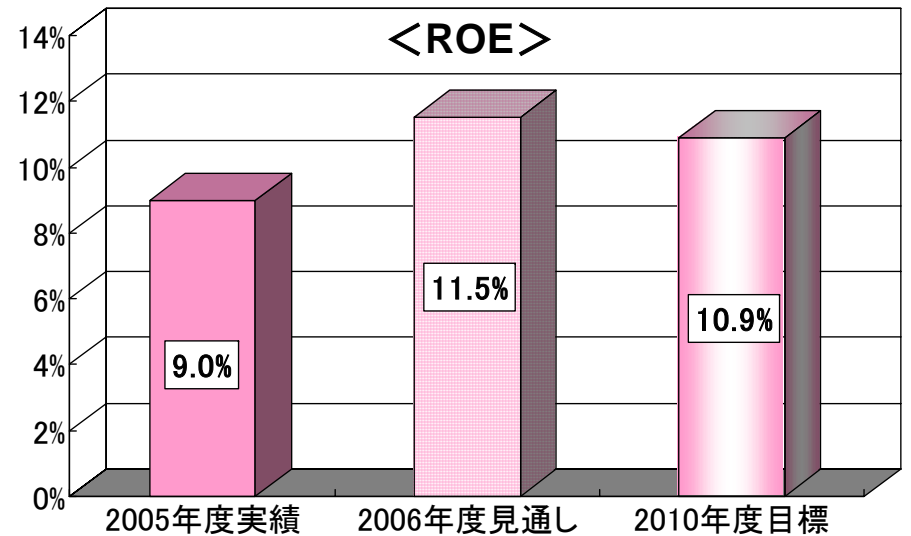
■TEP=税引後・利払前利益-資本コスト (投下資本×WACC)
 ・WACC FY05実績:3.7% FY06見通し3.8% FY10目標:3.8%



■営業CF=当期純利益+減価償却費



■ROA=当期純利益/総資本(期首・期末平均)



■ROE=当期純利益/株主資本(期首・期末平均)